第8次鳥取市総合計画「実施計画」

4 行政評価システム運用事務 業 分 一般会計 担当課行財政改革課 X 施 主 市 部 総務部 今 等第4次鳥取市行財政改革大綱、第8次鳥取市総合計画 当 係 行革係 拁 法 内 線 2157 10020 八一ド フト・ハードの区分 ソフト 実施(補助)期間 自 H15 至 継続 係 課 企画調整課、8次総実施計画の各所管課 基本計画の政策目標 (平成16年度 22年度) 名 第4章 効率的で質の高い市役所づくりと地域の特色を活かした計画的なまちづくり 名第1節 効率的で質の高い市役所づくり 基本計画 名 第 5 効率的な業務プロセスの確立 鳥取市の対応の早さに対する満足度 38.1% 60% 鳥取市の対応の正確さに対する満足度 35.4% 60% 名 成果に基づく施策・事業の推進 173ページ 策 該当ページ 夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン 41-05-01 X 分 新規 継続 施策 【事務事業·第8次総合計画進捗管理】 目 的 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度 備 考 注意事項 市民重視の政策形成と市民への説明責任の徹底及び客観的な 事 業 内 容 事業内容 事 業 内 容 事 業 内 容 証拠に基づく事業の見直し等による限りある行政資源の効率的か 第8次鳥取市総合計画実施 第8次鳥取市総合計画実施計画進 第8次鳥取市総合計画実施計画進 第8次鳥取市総合計画実施計画進 (注1) つ効果的な活用、並びに真に自立した地方自治を目指した目的・ 計画進行管理と連動した行 行管理と連動した行政評価を実施 行管理と連動した行政評価を実施 行管理と連動した行政評価を実施 事業内容は、 成果志向の行政への転換を図ることで、行財政改革を推進するこ 政評価を実施し、予算編成 し、予算編成に反映させる。 、予算編成に反映させる。 し、予算編成に反映させる。 地域の実情、 とを目的とする。また、第8次総合計画の進捗管理に活用するとと に反映させる。 ·担当課による実施計画の第1次評 ・担当課による実施計画の第1次評 ・担当課による実施計画の第1次評 効果、熟度、 有利 もに、評価結果を予算編成に反映し、限られた財源を有効に活用 ·担当課による実施計画の 財源の確保の観点によ する。 ・行政評価実施本部による2次評価 第1次評価 ・行政評価実施本部による2次評価 ・行政評価実施本部による2次評価 り、毎年ローリング ത ・行政評価実施本部による ・市民委員会による外部評価の実施 市民委員会による外部評価の実施 市民委員会による外部評価の実施 (見直し)する中で変 次評価 ・評価結果を予算編成に反映 評価結果を予算編成に反映 ・評価結果を予算編成に反映 第8次総合計画実施計画の評価(第1次評価)・・・各担当課 更していくことがあり 市民委員会による外部評 ·8次総合計画、行政評価、予算編 ·8次総合計画、行政評価、予算編 ·8次総合計画、行政評価、予算編 部方針の作成・・・各部長等が施策評価とともに実施 ます。 成の連動したマネジメントシステムの 成の連動したマネジメントシステムの 成の連動したマネジメントシステムの 価の実施 第2次評価の実施・・・行政評価実施本部(市長、副市長、教育 ・評価結果を予算編成に反 運用 長、各部長等で構成) (注2) 評価結果により予算編成の実施 8次総合計画、行政評価。 事業費(財源内訳) 評価結果による事務事業の改善の実施 予算編成の連動したマネジ は、社会経済情勢の推 外部評価の実施・・・行財政改革推進市民委員会 メントシステムの構築 移や行財政改革の推 進、中長期的な財政事 の対 象 者 付 先 情などにより、毎年 第8次総合計画実施計画及び実施計画を実施する所管課 ローリングする中で見 直しを行い、当該年度 の予算編成で精査する H21予算要求 H22予算要求 こととなります。 H19決算額 H20予算額 H20~H22合計 予定額 予定額 業 費 万 円 百 百万円未満の事業費は、百万円に切り上げています。 財 庫 出 金 支 財源内訳 金 支 出 (インプット) ത 評価実施施策数 評価実施施策数 240施策 評価対象施策数 165施策 評価対象施策数 165施策 評価対象施策数 165施策 評価実施事務事業数 評価実施事業数 608実施計 評価対象事業数 599実施計画 評価対象事業数 599実施計画 評価対象事業数 599実施計画 活動の指標 (アウトプット) 目 業務改善(縮小・休止・廃止)事業数 業務改善事業数 50事業 業務改善実施率 100% 業務改善実施率 100% 業務改善実施率 100% 値 外部評価での提言等に対する改善等(市からの回 答)の実施率 (アウトカム) 効果の目標値を変更 特記事項